



## 令和2年度特別展 埼玉記念物 100年

埼玉の天然記念物って  
Natural monument in SAITAMA.  
What do you think?  
どう思いますか?

会期：令和2年9月26日（土）  
～令和3年2月28日（日）

須田 大樹

大正時代に天然記念物の保護制度ができてから、100年の節目を迎えました。都市化の進む埼玉にも、たくさんの天然記念物があり、素晴らしい自然が残されています。

天然記念物は、単に観光名所であるばかりでなく、地域の自然の成り立ちや仕組みを理解する上で、カギとなる存在でもあります。現地の写真と当館ならではの豊富な標本により、埼玉の天然記念物の全体像をご紹介します。

### 第1章 埼玉の大地（地学展示ホール）

地質関連の天然記念物を見わたすと、埼玉の大地の成り立ちを理解することができます。

#### （1）大洋の時代・大陸の時代

秩父の山々を構成しているのは、海の底あるいは大陸の縁で形成された、日本列島の骨格を形づくっている古い時代の岩石です。石灰岩やチャート、結晶片岩などが侵食や断層運動などにより独特の地形となり、天然記念物に指定されている場所があります。



令和元年 県指定「龍ヶ谷の障子岩」  
(越生町)

#### （2）古秩父湾の時代

秩父盆地や比企丘陵周辺には、日本海が拡大して日本列島の原型が誕生した時代の堆積岩が分布しています。平成28年、「古秩父湾堆積層及び海棲哺乳類化石群」が国の天然記念物に指定され、当館で全ての化石（9件）を展示しています。

#### （3）列島の時代

秩父盆地内や県平野部の広い範囲に、河川による侵食と堆積によって形成された新しい時代の地層が分布しています。大部分が田畑や市街地などになっていますが、国内では珍しい内陸砂丘などが天然記念物に指定されています。



平成29年 県指定「中川低地の河畔砂丘群 志多見砂丘」  
砂丘上に成立したアカマツ林（加須市）

### 第2章 埼玉の自然環境（生物展示ホール）

植生関連の天然記念物を見わたすと、埼玉の自然環境の全体像を理解することができます。

#### （1）亜寒帯

コメツガなどの常緑針葉樹林が中心となる植生帯で、奥秩父の標高の高い場所に分布します。天然記念物にはなっていませんが、十文字峠などで良好な原生林を見ることができます。